

2023年6月30日

第17期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急フーズ

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	2,578,789	(負債の部)	137,604
流動資産	2,441,312	流動負債	137,604
現金及び預金	5,092	買掛金	72,874
売掛金	140,652	未払金	19,753
商品及び製品	122,196	未払費用	31,495
仕掛品	20,633	未払事業所税	551
原材料	527,178	未払法人税等	3,560
貯蔵品	1,454	預り金	650
前払費用	4,500	賞与引当金	8,484
短期貸付金	1,581,436	その他流動負債	235
未収法人税等	0		
その他流動資産	38,339		
貸倒引当金	△172		
固定資産	137,476		
有形固定資産	92,803		
建物	3,547		
建物附属設備	8,539		
構築物	0	(純資産の部)	2,441,184
機械及び装置	45,996	株主資本	2,441,184
器具及び備品	6,355	資本金	10,000
土地	28,365	資本剰余金	2,433,552
		資本準備金	1,000
無形固定資産	1,630	その他資本剰余金	2,432,552
ソフトウェア	335	利益剰余金	△2,368
施設利用権	1,294	利益準備金	4,389
		その他利益剰余金	△6,757
投資その他の資産	43,042	繰越利益剰余金	△6,757
投資有価証券	25,000		
差入保証金	16,563		
その他投資	1,479		
合 計	2,578,789	合 計	2,578,789

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式 移動平均法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

原材料 総平均法
仕掛品 総平均法
製品 総平均法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法
無形固定資産 定額法

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金 役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

控除対象外消費税等の会計処理 控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

6. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益は、商品の販売によるものであり、顧客に商品を販売した時点で収益を認識しております。なお、当該収益は契約に定める価格から値引き及びリベート等の見積もりを控除した金額で算定しており、重要な戻入が生じない可能性が非常に高い範囲でのみ認識しております。

当期純損益金額

当期純損失 198,970千円